

令和8年二級建築士学科試験 合格推定点と講評

講師の岡部です。

昨日の二級建築士学科試験を受験された皆さん！梅雨真ただ中の試験、お疲れ様でした。結果はいかがでしたか？少し落ち着いたところで、試験の内容を確認しておきましょう。

令和8年二級建築士学科試験の講評をいたします。

■TAC 合格推定点

TAC 合格推定点 60 点以上

TAC 各科目基準点 計画 13 点以上、法規 13 点以上、構造 13 点以上、施工 13 点以上

各科目の難易度は、計画、法規は「やや易しい～標準的」で、構造、施工は「標準的～やや難しい」で、合格基準点は例年通りと推定いたします。

自己採点で無事に合格点に達した方は、**すぐに設計製図の対策に移りましょう**。(推定点より1点足りなかった方も可能性はありますので、準備を始めてもよいでしょう。)

なお、この推定点は TAC が独自に算出したものです。実際の合格点とは異なる場合がありますことをご了承下さい。試験実施機関による正式な合格発表は **8月24日(月)** が予定されていますので正確にはそちらをご確認下さい。

それでは、講評です。

●計 画

難易度は、やや易しい～標準的です。新規問題もいくつかありましたが、全体的には過去問ベースで対応可能な問題が多く、頻出の問題をしっかりとこなしていれば、十分科目基準点はとれたかと思えます。

【**建築史**】No.1の日本建築史では、厳島神社の記述が**伊勢神宮**の内容で×。No.2の住宅作品では、**塔の家**の設計が坂倉準三で×。いずれも**頻出の過去問をおさえれば正答**ができた易しい問題でした。

【**環境工学**】No.3～No.10の環境工学の問題では、No.4は、肢4の風圧係数の差が、平方根の差で×。昨年の出題がそのまま誤りとして出題されました。今後、自然換気の踏み込んだ内容の出題が増えそうです。No.10は肢2の $PMV=0$ のとき $PPD=0$ が間違いで出題され新規問題です(正しくは5%)。ただし、**他の肢がどれも頻出の過去問**なので、正答は可能でした。

【計画各論】No.11～No.18の計画各論の問題では**過去問をベースとした解きやすい問題**が続きます。No.13では、肢2「BCP」と肢3「ABW」が新規の用語で難しいですが、正答肢は5のセンターコアに外光などを取り入れやすいで×。**コアの配置イメージがつかめていればなんとか正答**できたかと思います。No.18では設問本文の「CPTED（防犯環境設計）」という用語こそ新規ですが、内容はR5のNo18と類似の問題。どれが防犯上良いかをおちついて考えれば正答できたかと思います。

【建築設備】No.19～No.25の建築設備の問題では**やや難しい問題**がありました。No.19では「力率＝皮相電力/有効電力」が×。逆の「力率＝有効電力/皮相電力」が正です。やや目新しい式ですが、力率は頻出の用語なので、意味をよく理解していれば正答できるかと思えます。No.20肢3は吹出し口のふく流型と軸流型の問題で新規で、これが正答肢。一級で出題されるような内容でこれはかなりの難問でした。

●法規

難易度は、やや易しい～標準的です。計算問題（採光、建蔽率、斜線制限）はやや難しかったものの、他は概ね過去問に類似の解きやすい問題で、しっかり法令集をひく練習した方は、得点しやすかったかと思えます。

追録からの出題はありませんでした。昨年の「脱炭素大改正」からの内容も大きな変化はなく、出題内容もおちついてきた印象です。

【建築基準法】No.2のハ「中間検査の特定工程」、ニ「ガス事業法は建築基準関係規定か？」は新規ですが、法令集の記載箇所を見つけられれば容易に正答できました。No3の「**全国の場所においても、確認済証の交付を受ける必要があるもの**」や、No.6の「構造計算が必要な建築物」は、R7の出題と同じ傾向で、「**脱炭素大改正**」後の条文をしっかりと理解できていれば正答ができました。No.14用途地域の問題は、新築することが「できる建築物」を選ぶのではなく「できない建築物」を選ぶ問題で、読み落とすと正答できません。過去問ではどちらもありますので、設問を注意深く読むようにしましょう。

（計算問題）No.4の採光計算では、窓の前面に道路があるパターンでした。またNo.17の斜線制限では北側斜線の計算で北側隣地に広場があるパターンでした。これらはいずれも**緩和規定がどうなるか**をしっかりと確認必要がありました。No.15建蔽率の計算問題は、街区の角地の緩和と準防火地域の準耐火建築物の緩和が混じった問題で、さらに敷地が二つの地域にまたがりますので難問でした。今後**計算問題は少し複雑になっていく**可能性があります。

【関係法令】No.21 と No.22 は建築士法からの出題です。毎年難しくないのでありますが、今年もやはりわかりやすい問題でした。特に No.21 は「**二級建築士が設計してはならないもの**」は必ず得点したいところです。関連法規からは、No.23 消防法、No.24 省エネ法、No.25 耐震改修法とそれぞれ単独での出題となりました。消防法は肢1～4が新規問題でやや難しかったのですが、正答肢は5、建築基準法で判断できる問題。今後は**消防法からの出題範囲が広がる**と予想されます。No.24 では「**建築物省エネ法**」の**単独問題**が出題されました。基本的な内容が問われました。正答肢は3の「現場事務所は省エネ適合不要」で、**昨年同様**に令4条からの出題でした。

●構造

難易度は、標準的～やや難しいです。**力学は過去問ベースの解きやすい問題**ですが、No.3は梁が斜めになっており驚いた方も多かったかと思います。文章問題は新規の内容がある程度目立ちましたが、正答肢は過去問ベースの問題が多く、頻出問題をしっかりと理解するように学習ができていれば、基準点はとれたかと思います。

【構造力学】

No.1・2、4～6は**基本的といって良い問題**。ぜひ得点しておきたいところです。No.3**単純梁の応力度**では、梁が斜めに架かっていて少々驚きますが、荷重も長さも水平投影長さで計算すればOKです。難しい問題はみんなわからない！と割り切って**他でしっかり得点を目指す**ことも試験ではだいじです。

【構造設計】

No.8では、風力係数から風圧力を計算する問題。R2の類題ですが、建築物の背後の壁の風圧力が問われました。風力係数は外圧係数から内圧係数を引いて求めることをしっかり押さえておれば正答が可能でした。

【各種構造】

No.12「**枠組壁工法**」、No.13「**壁式鉄筋コンクリート**」でそれぞれ細かな仕様の規定が出題されました。いずれも難問です。枠組壁工法単独ではH20年に出題が見られますが、出題頻度は高くないので、正答率はひくくなると思います。今後出題が増えていくか注目しましょう。

他はおおむね**過去問ベース**の解きやすい問題でしたので、やはり過去問をしっかりとおさえることが大切です。

【建築材料】

こちらにも易しい問題が多く点数を稼ぎたいところです。No.21「中性化の進行は水/セメント比が大きいほど遅くなる⇒×」やNo.22「AE剤は、凍結融解に対する抵抗性を低下させる⇒×」は必ず得点すべき問題です。

●施工

難易度は、標準的～やや難しいです。例年新規問題が多いのが施工ですが、今年も少なくありません。しかし、正答肢は過去問が多く、やはり過去問をしっかり理解した人の得点力が高いといえる内容でした。

施工は実務経験の少ない方にとって、工事の内容がイメージしづらく知らない用語が多く、覚えにくい科目になります。細かな数値を覚える前に**できるだけその工事の「意味」を理解**するように、各種動画をみたり、先輩に聞いたりといった学習が大事だと思います。

【施工計画～仮設工事】

No.2は申請、届出の提出先を問う問題ですが、提出時期まで問われたのは初めてです。しかし、誤りは例年どおり、提出先の誤りで、特定建設作業実施届⇒労働基準監督署長×、市町村長○です。No.4産業廃棄物では、廃せっこうボードがR6に続き出題されて今年は特別管理産業廃棄物×と正答肢での出題です。

【各種工事】

No.7の土工事は新規問題が多く難問でした。平板載荷試験における載荷板の寸法は新規問題で、直径250mm厚さ20mmは×、直径300mm厚さ22mm以上となりますが、これは難しいので、みんなできない！さらに、No.9では正答肢が3で、柱の型枠ではコンクリート打ち込み後の清掃用⇒× 打ち込み前の清掃用⇒○ ……これも、わからなくても良い問題です。このような問題はあまり気にせず、他でしっかり点を稼ぎましょう。

【積算・請負契約】

No.24積算では、例年どおり積算用語の定義です。肢1純工事費は直接工事費、共通費、消費税等相当額⇒×、直接工事費、共通仮設費⇒○、しっかり表を描いて得点をしましょう。No.25請負契約は一昨年、昨年と続き監理業務について集中的に出題されました。正答肢は2の、設計内容を伝えるため受注者と打合せ説明用図書を発注者に交付⇒×受注者に交付で、これは頻出ですので、ぜひ得点したいところでした。

資格の学校 TAC

令和8年 二級建築士 学科試験

総評は以上になります。

難問もいくつかみられましたが、ベースはやはり過去の頻出問題です。

過去問を理解する努力をし、そこに出てくる数値を覚える工夫をした人は、十分に合格推定
点に到達できたと思います。

さあ、次は設計製図試験です！

TACでは「**二級設計製図 課題の概要説明会（商店街に建つ併用住宅）**」を
7/8（水）・11（土）・12（日）に実施します！

詳細は[こちら](#)をご確認ください。

TAC
いよいよ始動!
二級建築士 設計製図
【開講直前版】
令和8年
課題の概要説明会
7.8 [WED] 19:30~
オンライン[ZOOM]
7.11~12
詳しくはHPへ
各校舎にて開催
■オンライン担当■
内藤 遼馬 講師
【全日程】要予約・参加無料

今年の一発合格を目指して、設計製図試験に向けて頑張りましょう！

皆様の好結果を祈念しています

TAC建築士講座

令和8年7月6日

この総評の著作権は、TAC株式会社または権利者に帰属しており、当社に無断で複製、改変、転載、転用、インターネット上にアップロードする等の著作権を侵害する行為は法律によって禁止されております。